

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
21111	(上水)震災対策事業(体制構築)(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	2
21122	(上水)施設更新・改良事業(安全・安心)	公営企業局	水道管路管理センター	シートB	3
51212	(上水)修繕等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	5
51212	(簡水・中島)修繕等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	6
51212	(簡水・北条)修繕等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	7
51212	(工水)修繕等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	8
51212	(上水)料金関連業務	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	9
51212	(簡水・中島)料金関連業務	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	10
51212	(簡水・北条)料金関連業務	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	11
51212	(工水)料金関連業務	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	12
51212	(上水)地図情報・図面管理等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	13
51212	(簡水・中島)地図情報・図面管理等(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	14
53323	(上水)漏水防止対策事業(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	15
53323	(簡水・中島)漏水防止対策事業(水道管路管理センター分)	公営企業局	水道管路管理センター	シートA	16

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	池田 哲也	リダー名	副主幹	日野 啓典	担当者名	技師	林 駿太郎	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リダー名	副主幹	日野 啓典	担当者名	技師	林 駿太郎	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	21111	(上水)震災対策事業(体制構築)(水道管路管理センター分)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	災害等に強いまちをつくる					重点プロジェクト	-		
施策	防災対策等の推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	危機管理体制の強化				市長公約	-			
取り組みの柱	災害や武力攻撃、パンデミック(感染症が世界的規模で流行すること)などの危機事象に対する研修・訓練を実施し、職員の危機管理意識や危機対応能力の向上を図るとともに、訓練等を踏まえた計画・マニュアルの継続的な見直しなどを進めます。					-			
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-				-			
	施策	-				-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等		水道ビジョンまつやま2009 水道ビジョンまつやま2019							
事業の目的(どのような状態にするか)	災害等に強い水道を構築するため、災害時に必要な水道資機材の確保を順次進めていく。								
背景(どのような経緯で開始したか)	国が示した「新水道ビジョン」および「経営戦略」を基に、松山市公営企業局が「水道ビジョンまつやま2009・2019」を策定した。このビジョンが示す目標の1つである「地震などの災害に強い水道を構築します」を実現するため、平成21年度から実施している。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	・貯蔵品の購入 ・仮設給水栓の購入								
受益者負担の状況	負担の有無	-			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	-			
始期・終期(年度)	平成	21	～	令和	10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	水道事業費用	項	営業費用	目	配水及び給水費	R3予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				3,936		26,057		916		
決算額(B)(単位:千円)				4,320		21,580		916		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
	一般財源			4,320		21,580		916		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						水道管路管理棟の建設及び周辺整備:19,467千円 危機管理計画に基づく管材料等の備蓄:2,114千円		危機管理計画に基づく管材料等の備蓄:916千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		-384		4,477		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・災害時修繕用の大口径水道管等の購入 ・仮設給水栓等の購入 ・水道管路管理センター東側駐車場整備工事								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など		災害時修繕用の大口径水道管や仮設給水栓等の購入、災害時の他都市応援部隊用の駐車場整備が滞りなく進んだため、防災体制をより向上させることができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		災害時に入手困難な資材(大口径水道管等)の確保が進み、防災体制の向上を図ることができたため。				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし		
R4年度の目標	災害時にも円滑に資材の運用ができるよう、倉庫の管理体制を整える。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・仮設給水栓の購入 ・緊急用貯水槽関連備品の購入 ・備蓄食料の購入		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	北部・南部担当	連絡先	989-8474
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	池田 哲也	リダー名	副主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道整備課	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	998-9841
	部等長名	宇野 一生	課等長名	奥村 栄二	リダー名	主幹	担当者名	副主幹 藤本 研之介

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	21122	(上水)施設更新・改良事業(安全・安心)			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	313	個別プログラム	笑顔を守るプログラム
政策	災害等に強いまちをつくる						重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト
施策	防災対策等の推進						主な取り組み	耐震化対策の推進
主な取り組み	市有施設の耐震化				市長公約			
取り組みの柱	上下水道施設は、市民生活に欠かすことのできないライフラインであることから、施設の重要度や災害時の医療・救護活動などへの影響度に応じて優先順位を見極めながら、計画的に耐震化を進めます。							
総合戦略	基本目標	-			取組み	-		
	政策	-						
	施策	-						
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	1:有り				

根拠法令,条例,個別計画等 「水道ビジョンまつやま2019」、「硬質塩化ビニル管等の更新計画」

事業の目的(どのような状態にするか)	・甚大な被害が予想される地震等への対策として、水道施設の耐震化を図ることを目的とする。							
背景(どのような経緯で開始したか)	・老朽が進む水道管(配水支管)の中でも、材質面で安全性に劣る硬質塩化ビニル管(VP)が今後更新時期を迎えることで漏水のリスクが高まっていることから、より安全性に優れた耐震管への布設替えが急がれる。							
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	・上水道施設 配水支管(硬質塩化ビニル管等) 老朽管路(硬質塩化ビニル管等)更新工事に伴う測量設計等へ委託料を支出 老朽管路(硬質塩化ビニル管等)更新工事へ工事請負費を支出							
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	令和	元	～	令和	20	終期の種別	1:事業の終了時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	資本的支出		項	水道建設改良費	目	水道施設整備事業費ほか	R3 予算措置時期	当初	繰越
				R2年度	R3年度							
現計予算額(A)(単位:千円)							2,652,499		2,623,682			2,405,970
決算額(B)(単位:千円)							2,115,557		2,009,039			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳 R4→予算内訳			国支出金				0		0			0
			県支出金				0		0			0
			市債				40,374		736,700			938,858
			その他				6,337		56,100			75,833
			一般財源				2,068,846		1,216,239			1,391,279
主な経費(単位:千円) ※R3→決算 R4→予算								・硬質塩化ビニル管の更新:2,009,039千円		・硬質塩化ビニル管の更新:2,405,970千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								・決算額のうち、612,024千円は前年度繰越分 ・R3年度から事業を水道管路管理センターに事務移管		・予算額のうち、288,800千円は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)				536,942		614,643		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	硬質塩化ビニル管の更新工事[39件 L=14,788m]											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			・年間を通じて、概ね計画どおりに工事を実施することができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			・施設の耐震化が図れ、防災対策の推進に貢献している。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				特になし			
R4年度の目標	計画どおり工事発注を行い、早期の完成を目指す。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				硬質塩化ビニル管の更新工事[L=17,000m]			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	ビニル管の残存率	%	目標値	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	目標値	8.1	
			実績値	13.9	13.2	12.4			達成年度	R10年度	
			達成度	58.3	61.8	65.3					
	指標の種類	4.累計での減少を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		・「水道ビジョンまつやま2019」で目標値を設定。				
	本指標の設定理由	・管路の総延長に対するビニル管の延長の割合を示す指標。									
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
達成度											
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	・概ね目標どおりに実施できているため、引き続き最終目標の達成に向けて取り組む。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	池田 哲也	リーダー名	主幹	門田 耕太郎	担当者名	主査	森田 直幸	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	門田 耕太郎	担当者名	技師	笹方 裕平	技師 松本 潤

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(上水)修繕等(水道管路管理センター分)				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営		
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-				
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-				
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-				
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約						
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。										
総合戦略	基本目標	-				取組み					
	政策	-									
	施策	-									
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等		水道法第2条、水道ビジョンまつやま2019									
事業の目的(どのような状態にするか)	水道管の漏水修繕など、適切に施設を維持することで、水道水を安定して供給することを目的とする。										
背景(どのような経緯で開始したか)	上水道の給水開始を受けて、安定的な水運用をするため昭和28年から継続して実施している。										
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	上水道の水道施設のうち、水道管とその付属設備を対象とし、管路の維持管理業務を行う。(令和2年度末 管路延長(導・送・配) 約2.251km) 1.漏水等の修繕の実施・・・漏水箇所や不具合箇所の補修・修理 2.管路ハトロールの実施・・・管路設置位置の道路上の漏水や弁稼働の動作確認など 3.洗管作業の実施・・・水質異常(残留塩素低下や水温上昇など)が発生しやすい既存管路の計画的な洗管										
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由							
始期・終期(年度)	昭和 28	～	令和 10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期						

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	水道事業費用		項	営業費用		目	配水及び給水費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度		R3年度	R4年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				229,022	231,322						237,739	
決算額(B)(単位:千円)				205,562	196,968							
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0	0						0	
	県支出金			0	0						0	
	市債			0	0						0	
	その他			0	0						0	
一般財源				205,562	196,968						237,739	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算					漏水修繕委託:106,607千円 構築物の修繕: 87,968千円					漏水修繕委託:139,825千円 構築物の修繕: 94,936千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	23,460					34,354		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・漏水等の修繕の実施 ・管路ハトロールの実施 ・洗管作業の実施										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			漏水や施設の不具合に対し、迅速に対応することができた。 人事異動や若手職員に対する技術継承、人材育成及び情報共有を目的として、各種マニュアルを改訂した。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		本事業の実施により、水道水を安定して供給することができたため。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			特になし			
R4年度の目標	計画的に管路を維持管理することで、大規模事故の未然防止に努める。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			・漏水等の修繕の実施 ・管路ハトロールの実施 ・洗管作業の実施			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	池田 哲也	リダー名	主幹	門田 耕太郎	担当者名	主査	森田 直幸	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リダー名	副主幹	門田 耕太郎	担当者名	技師	笹方 裕平	技師 松本 潤

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	51212	(簡水・中島)修繕等(水道管路管理センター分)				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔 プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約				
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。								
総合戦略	基本目標	-			取組み				
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	水道法第2条								
事業の目的 (どのような状態にするか)	水道管の漏水修繕など、適切に施設を維持することで、水道水を安定して供給することを目的とする。								
背景 (どのような経緯で開始したか)	安定的な水運用をするため、合併後の平成16年度から継続して実施している。								
対象・事業内容 (誰に対して、何をやるのか)	中島地区簡易水道の水道施設のうち、水道管とその付属設備を対象とし、管路の維持管理業務を行う。(令和2年度末 管路延長(導・送・配) 約107km) 1.漏水等の修繕の実施・・・漏水箇所や不具合箇所の補修・修理 2.管路ノロールの実施・・・管路設置位置の道路上の漏水や弁栓類の動作確認など 3.洗管作業の実施・・・水質異常(残留塩素低下や水温上昇など)が発生しやすい既存管路の計画的な洗管								
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	/			
始期・終期(年度)	平成	16	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道事業費用		目	配水及び給水費ほか	R3予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				14,021		13,740		12,756	
決算額(B)(単位:千円)				5,728		5,818			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			5,728		5,818		12,756	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				/		漏水修繕委託: 4,869千円		漏水修繕委託: 8,820千円 構築物の修繕: 2,511千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				/		/		/	
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		8,293		7,922	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	漏水等の修繕の実施 ・管路ノロールの実施 ・洗管作業の実施								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			漏水や施設の不具合に対し、迅速に対応することができた。 人事異動や若手職員に対する技術継承、人材育成及び情報共有を目的として、各種マニュアルを改訂した。			
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		本事業の実施により、水道水を安定して供給することができたため。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし		
R4年度の目標	漏水や故障等の早期発見、早期修繕に努める。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・漏水等の修繕の実施 ・管路ノロールの実施 ・洗管作業の実施		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	池田 哲也	リダー名	主幹	門田 耕太郎	担当者名	主査	森田 直幸	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リダー名	副主幹	門田 耕太郎	担当者名	技師	笹方 裕平	技師 松本 潤

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	51212	(簡水・北条)修繕等(水道管路管理センター分)				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔 プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約				
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。								
総合戦略	基本目標	-			取組み				
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	水道法第2条								
事業の目的 (どのような状態にするか)	水道管の漏水修繕など、適切に施設を維持することで、水道水を安定して供給することを目的とする。								
背景 (どのような経緯で開始したか)	安定的な水運用をするため、合併後の平成16年度から継続して実施している。								
対象・事業内容 (誰に対して、何をやるのか)	北条地区簡易水道の水道施設のうち、水道管とその付属設備を対象とし、管路の維持管理業務を行う。(令和2年度末 管路延長(導・送・配) 約12km) 1.漏水等の修繕の実施・・・漏水箇所や不具合箇所の補修・修理 2.管路ノロールの実施・・・管路埋設位置の道路上の漏水や弁柱類の動作確認など 3.洗管作業の実施・・・水質異常(残留塩素低下や水温上昇など)が発生しやすい既存管路の計画的な洗管								
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	/			
始期・終期(年度)	平成	16	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業会計	款	北条地区簡易水道事業費用		目	配水及び給水費ほか	R3予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				2,946		2,744		3,217	
決算額(B)(単位:千円)				1,394		1,877			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
	一般財源			1,394		1,877		3,217	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				/		漏水修繕委託:1,524千円		漏水修繕委託:1,359千円 構築物の修繕:1,851千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				/		/		/	
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,552		867	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・漏水等の修繕の実施 ・管路ノロールの実施 ・洗管作業の実施								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			漏水や施設の不具合に対し、迅速に対応することができた。 人事異動や若手職員に対する技術継承、人材育成及び情報共有を目的として、各種マニュアルを改訂した。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、水道水を安定して供給することができたため。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし		
R4年度の目標	漏水や故障等の早期発見、早期修繕に努める。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・漏水等の修繕の実施 ・管路ノロールの実施 ・洗管作業の実施		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	池田 哲也	リーダー名	主幹	門田 耕太郎	担当者名	主査	森田 直幸	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	門田 耕太郎	担当者名	技師	笹方 裕平	技師 松本 潤

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	51212	(工水)修繕等(水道管路管理センター分)				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約				
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。								
総合戦略	基本目標	-			取組み				
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等		工業用水道事業法第14条							
事業の目的(どのような状態にするか)	水道管の漏水修繕など、適切に施設を維持することで、水道水を安定して供給することを目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	工業用水道の給水開始を受けて、安定的な水運用をするため昭和27年から継続して実施している。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	工業用水道の水道施設のうち、水道管とその付属設備を対象とし、管路の維持管理業務を行う。(令和2年度末 管路延長(導・送・配) 約41km) 1.漏水等の修繕の実施・・・漏水箇所や不具合箇所の補修・修理 2.管路/パロールの実施・・・管路設置位置の道路上の漏水や弁栓類の動作確認など								
受益者負担の状況	負担の有無			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由					
始期・終期(年度)	昭和	27	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業会計	款	工業用水道事業費用	営業費用		目	配水及び給水費ほか	R3予算措置時期	当初
					項	目				
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				6,413		5,076		5,253		
決算額(B)(単位:千円)				5,443		5,711				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
	一般財源			5,443		5,711		5,253		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						漏水修繕委託:1,233千円 構築物の修繕:4,478千円		漏水修繕委託:2,033千円 構築物の修繕:3,220千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用増あり				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		970		-635		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	漏水等の修繕の実施 ・管路/パロールの実施									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			漏水や施設の不具合に対し、迅速に対応することができた。 人事異動や若手職員に対する技術継承、人材育成及び情報共有を目的として、各種マニュアルを改訂した。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、水道水を安定して供給することができたため。					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			特になし		
R4年度の目標	漏水や故障等の早期発見、早期修繕に努める。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			・漏水等の修繕の実施 ・管路/パロールの実施		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	池田 哲也	リーダー名	主幹	門田 耕太郎	担当者名	主任	佐野 文彦
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	門田 耕太郎	担当者名	主査	高橋 真也

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(上水)料金関連業務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約	-		
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等 計量法第2条第4項及び第16条第1項,計量法施行令第2条及び第18条

事業の目的(どのような状態にするか)	水道料金を算出する重要な給水装置である水道メーターを取替える。					
背景(どのような経緯で開始したか)	水道メーターは計量法により有効期限が定められているため、有効期限が満了するまでに水道メーターを取替える。					
対象・事業内容(誰に対して,何をするか)	水道メーター 水道メーターの取替えは、松山市管工事事業協同組合へ委託料を支出しており、組合の作業班が事前に取替えの案内を投函してお知らせした後、取替えている。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和 28	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	水道事業費用ほか		営業費用ほか		R3予算措置時期		当初
				項	目	配水及び給水費ほか	R3	R4		
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				222,137		254,507		259,133		
決算額(B)(単位:千円)				201,234		206,419		259,133		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
	一般財源			201,234		206,419		259,133		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				メーター修理及び取替等:124,980千円 メーター購入:64,012千円		メーター修理及び取替等:164,087千円 メーター購入:77,095千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		20,903		48,088		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	計画的な水道メーターの取替え					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおりに事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	生活の安定に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし
R4年度の目標	取替件数27,193件を目指す。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		計画的な水道メーターの取替え

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	池田 哲也	リーダー名	主幹	門田 耕太郎	担当者名	主任	佐野 文彦
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	門田 耕太郎	担当者名	主査	高橋 真也

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(簡水・中島)料金関連業務				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約				
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。								
総合戦略	基本目標	-			取組み				
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等		計量法第2条第4項及び第16条第1項、計量法施行令第2条及び第18条							

事業の目的(どのような状態にするか)	水道料金を算出する重要な給水装置である水道メーターを取替える。								
背景(どのような経緯で開始したか)	水道メーターは計量法により有効期限が定められているため、有効期限が満了するまでに水道メーターを取替える。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	水道メーター 水道メーターの取替えは、松山市管工事業協同組合へ委託料を支出しており、組合の作業班が事前に取替えの案内を投函してお知らせした後、取替えている。								
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	/			
始期・終期(年度)	平成	16	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道事業費用ほか		目	配水及び給水費ほか	R3予算措置時期	当初
				項	営業費用ほか				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					1,060		1,501		3,305
決算額(B)(単位:千円)					734		1,132		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				0		0		0
	一般財源				734		1,132		3,305
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						メーター修理及び取替等:728千円 メーター購入:269千円		メーター修理及び取替等:2,436千円 メーター購入:724千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	326		369		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	計画的な水道メーターの取替え									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおりに事業が実施できたため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			生活の安定に寄与しているため。				
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特になし			
R4年度の目標	取替件数290件を目指す。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		計画的な水道メーターの取替え			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	池田 哲也	リーダー名	主幹	門田 耕太郎	担当者名	主任	佐野 文彦	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	門田 耕太郎	担当者名	主査	高橋 真也	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	51212	(簡水・北条)料金関連業務				事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔 プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約				
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等		計量法第2条第4項及び第16条第1項、計量法施行令第2条及び第18条							
事業の目的 (どのような状態にするか)	水道料金を算出する重要な給水装置である水道メーターを取替える。								
背景 (どのような経緯で開始したか)	水道メーターは計量法により有効期限が定められているため、有効期限が満了するまでに水道メーターを取替える。								
対象・事業内容 (誰に対して、何をやるのか)	水道メーター 水道メーターの取替えは、松山市管工事事業協同組合へ委託料を支出しており、組合の作業班が事前に取替えの案内を投函してお知らせした後、取替えている。								
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成	16	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業会計	款	北条地区簡易水道事業費用ほか		項	営業費用ほか	目	配水及び給水費ほか	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度						
現計予算額(A)(単位:千円)							144		321		629
決算額(B)(単位:千円)							96		246		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金				0		0		0
			県支出金				0		0		0
			市債				0		0		0
			その他				0		0		0
			一般財源				96		246		629
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							メーター修理及び取替等:163千円 メーター購入:72千円		メーター修理及び取替等:433千円 メーター購入:182千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)				48		75		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	計画的な水道メーターの取替え										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			予定どおりに事業が実施できたため。			
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		生活の安定に寄与しているため。						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				特になし		
R4年度の目標	取替件数71件を目指す。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				計画的な水道メーターの取替え		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	池田 哲也	リーダー名	主幹	門田 耕太郎	担当者名	主任	佐野 文彦
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473		
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	門田 耕太郎	担当者名	主査	高橋 真也

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(工水)料金関連業務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	上水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	上水道等の建設・維持		市長公約	-		
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等 計量法第2条第4項及び第16条第1項,計量法施行令第2条及び第18条

事業の目的(どのような状態にするか)	工業用水流量計の正確性を維持するため、流量計取替及び突発修繕に対応する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	工業用水道の流量計測のため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	メーター、ベンチュリー流量計、電磁流量計 メーターの取替は、松山市管工事業協同組合へ委託料を支出しており、組合の作業班が事前に取替えの案内を投函してお知らせした後、取替えている。 ベンチュリー流量計及び電磁流量計の場合は、落雷などによる突発的な故障が発生した場合、製造業者に修繕を依頼する。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		-		
始期・終期(年度)	昭和 27	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	工業用水道事業会計	款	工業用水道事業費用ほか		目	配水及び給水費ほか	R3予算措置時期	当初
				項	営業費用ほか				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					221		221		221
決算額(B)(単位:千円)					0		0		0
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				0		0		0
	一般財源				0		0		221
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								メーター修理及び取替等:220千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	221		221		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	委託先である松山市管工事業協同組合が計画的な流量計の取替え及びメーカーによる突発修繕を行うが、R3年度は該当する修繕等は発生しなかった。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定どおりに事業が実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	生活の安定に寄与しているため。			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特になし		
R4年度の目標	特になし		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	特になし		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472				
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	日野 啓典	担当者名	主任	岡本 康隆	技師	林 駿太郎
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	日野 啓典	担当者名	主任	岡本 康隆	技師	林 駿太郎

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	51212	(上水)地図情報・図面管理等(水道管路管理センター分)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	上水道等の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	上水道等の建設・維持				市長公約	-			
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。					-			
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-				-			
	施策	-				-			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等									
事業の目的(どのような状態にするか)	本市の行政情報のうち、上水道の地図や図面、それに付随した台帳や申請書等をコンピュータシステム(都市情報システム上水道サブシステム)で情報別に一元管理し、さらに検索、集計、分析といった付加機能を設けて、上水道の地図や図面を利用する業務を、省力化・高度化することを目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	システム導入前は、上水道管路の管理用図面や工事完成図面、給水装置工事承認申請書は紙面やマイクロファイルにてファイリング管理していたが、紛失や誤転記等による情報精度の低下及び事務スペースの確保が問題となっていた。それらを解消し、電子情報を利用して業務を省力化・高度化するために、平成元年度より全庁的な電子地図の整備に関する取り組みである都市情報システムの構築に参加して現在に至っている。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	システムで管理する上水道に関する台帳を運用・更新して、地図を利用する業務を下支えするとともに、併せて市民からの関連する申請処理の迅速化を継続させる。 ・都市情報システム上水道サブシステムの運用と台帳データの更新								
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	/			
始期・終期(年度)	平成	1	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	水道事業費用		項	営業費用		目	総係費ほか	R3予算措置時期		当初
				R2年度	R3年度		R3年度	R4年度					
現計予算額(A)(単位:千円)					50,581			59,159				81,806	
決算額(B)(単位:千円)					48,040			52,730					
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		0			0				0	
			県支出金		0			0				0	
			市債		0			0				0	
			その他		0			0				0	
			一般財源		48,040			52,730				81,806	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算							地図情報システムの維持管理:38,649千円 地図情報システムの開発:14,080千円				地図情報システムの維持管理:47,079千円 地図情報システムの開発:34,727千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							・「(上水)地図情報・図面管理等(水道管路管理センター分)」へ名称変更 ・給水装置台帳システム関連は、新規で「(上水)地図情報・図面管理等(上下水道サービス課分)」を作成、移管						
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		2,541			6,429					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	都市情報システム上水道サブシステムの運用と台帳データの更新 水道台帳管理システム再構築業務の実施												
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など				システム運用や情報の更新に関する委託業務について、当初予定した工程を遵守して満足な成果を挙げることができ、また、システム再構築業務を遅滞なく進めることができた。					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		地図や図面情報等の迅速な提供によって上水道事業の地図・図面を利用する業務を下支えできているため。								
事業の公共性	必要性		3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性		3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				特に無し				
R4年度の目標	・地図や図面情報等の迅速な提供によって上水道事業の地図・図面を利用する業務を下支えすること。 ・水道台帳管理システム再構築業務を遅滞なく実施すること。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				・都市情報システム上水道サブシステムの運用と台帳データの更新 ・水道台帳管理システム再構築業務の実施				

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472				
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	日野 啓典	担当者名	主任	岡本 康隆	技師	林 駿太郎
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管理計画担当	連絡先	989-8472				
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リーダー名	副主幹	日野 啓典	担当者名	主任	岡本 康隆	技師	林 駿太郎

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51212	(簡水・中島)地図情報・図面管理等(水道管路管理センター分)					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】					笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる						重点プロジェクト	-		
施策	上水道等の整備						主な取り組み	-		
主な取り組み	上水道等の建設・維持					市長公約				
取り組みの柱	民間事業者と協働して、効率的かつ適切な施設の維持管理を行います。									
総合戦略	基本目標	-				取組み				
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し							
根拠法令,条例,個別計画等										
事業の目的(どのような状態にするか)	本市の行政情報のうち、簡易水道の地図や図面、それに付随した台帳や申請書等をコンピュータシステム(都市情報システム上水道サブシステム)で情報別に一元管理し、さらに検索、集計、分析といった付加機能を設けて、簡易水道の地図や図面を利用する業務を、省力化・高度化することを目的とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	システム導入前は、簡易水道管路の管理用図面は紙面等で管理していたが、紛失や未転記等による情報精度の低下及び情報量の不足が問題となっていた。それらを解消するため、上水道で利用している都市情報システム上水道サブシステムにて簡易水道の情報を作成して現在に至っている。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	システムで管理する簡易水道に関する台帳を運用・更新して、地図を利用する業務を下支えするとともに、併せて市民からの関連する申請処理の迅速化を継続させる。 ・都市情報システム上水道サブシステムの運用と台帳データの更新									
受益者負担の状況	負担の有無	/		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	平成 25	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検計時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道事業費用		目	総係費ほか	R3予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					730		612		613
決算額(B)(単位:千円)					685		590		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳		国支出金			0		0		0
		県支出金			0		0		0
		市債			0		0		0
		その他			0		0		0
		一般財源			685		590		613
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						地図情報システムの維持管理:590千円		地図情報システムの維持管理:613千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						・「(簡水・中島)地図情報・図面管理等(水道管路管理センター分)」へ名称変更 ・給水装置台帳システム関連は、新規で「(簡水・中島)地図情報・図面管理等(上下水道サービス課分)」を作成、移管			
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			45		22		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	・都市情報システム上水道サブシステムの運用と台帳データの更新 ・水道台帳管理システム再構築業務の実施									
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			システム運用や情報の更新に関する委託業務について、当初予定した工程を遵守して満足な成果を挙げることができ、また、システム再構築業務を遅滞なく進めることができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		地図や図面情報等の迅速な提供によって簡易水道事業の地図・図面を利用する業務を下支えできているため。						
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し		
R4年度の目標	・地図や図面情報等の迅速な提供によって簡易水道事業の地図・図面を利用する業務を下支えすること。 ・水道台帳管理システム再構築業務を遅滞なく実施すること。					R4年度の主な取組み内容(予定含む)		・都市情報システム上水道サブシステムの運用と台帳データの更新 ・水道台帳管理システム再構築業務の実施		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	池田 哲也	リダー名	主幹	門田 耕太郎	担当者名	主査	森田 直幸	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リダー名	副主幹	門田 耕太郎	担当者名	技師	笹方 裕平	技師 松本 潤

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	53323	(上水)漏水防止対策事業(水道管路管理センター分)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	豊かな自然と共生する					重点プロジェクト	-		
施策	節水型都市づくりの推進					主な取り組み	-		
主な取り組み	水資源の有効利用				市長公約				
取り組みの柱	水資源の有効利用を図るため、上水道などの漏水防止対策を推進します。								
総合戦略	基本目標	-			取組み				
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	水道ビジョンまつやま2019								
事業の目的(どのような状態にするか)	水道管の漏水調査を実施し、漏水を早期発見、早期修繕することで、水資源の有効活用を図る。								
背景(どのような経緯で開始したか)	水資源に恵まれていない本市では、水道管の漏水防止を水源開発の一環として位置づけ、漏水防止対策事業に取り組んでいる。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	上水道の水道管等を対象とし、漏水を早期に発見するため、老朽化が懸念される水道管に重点を置いた調査を実施する。(令和2年度末 管路延長(導・送・配) 約2,251km) 1.戸別音聴調査の実施(家庭内のメーターに音聴棒をあて、漏水音の有無を調査) 2.路面音聴調査の実施(漏水探知器を用いて、道路下に埋設されている水道管の漏水音を路面上から探知する調査) 3.関連式調査の実施(漏水箇所を挟む2点にセンサーを設置し、漏水箇所から各センサーまで伝わってくる漏水音の時間差によって、漏水地点を算出する調査) ※R3委託先: ㈱日本スイコー、フジ地中情報㈱								
受益者負担の状況	負担の有無	/		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	昭和 57	~	令和 10	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	水道事業会計	款	水道事業費用		営業費用		目	配水及び給水費	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度	R3年度	R4年度				
現計予算額(A)(単位:千円)					75,910				76,168		72,387
決算額(B)(単位:千円)					64,930				78,083		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0				0		0
	県支出金				0				0		0
	市債				0				0		0
	その他				0				0		0
	一般財源				64,930				78,083		72,387
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								漏水調査(委託): 63,690千円 事故多発等給水装置の改良: 6,687千円 その他の漏水防止対策: 6,789千円		漏水調査(委託): 68,134千円 給水装置の改善: 2,355千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								流用増あり			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		10,980				-1,915		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	1.戸別音聴調査の実施 2.路面音聴調査の実施 3.関連式調査の実施											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			継続的に漏水調査を実施し、漏水が微量な段階に発見することで、早期の修繕が可能となり、大規模な事故につながるような漏水を未然に防ぐことができたため。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、漏水量を抑制し、水を有効利用することができたため。							
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策				漏水調査業務は、専門性を有する業務であることから、人事異動でその技術が途絶えることがないよう、マニュアルに則り技術を継承していく。また、継続的にOJT等を実施し、漏水調査ができる職員を増やしていく。			
R4年度の目標	漏水の早期発見、早期修繕に努める。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				1.戸別音聴調査の実施 2.路面音聴調査の実施 3.関連式調査の実施			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	一色 芳朗	課等長名	池田 哲也	リダー名	主幹	門田 耕太郎	担当者名	主査	森田 直幸	
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	水道管路管理センター	担当グループ名	管路維持管理担当	連絡先	989-8473			
	部等長名	宇野 一生	課等長名	池田 哲也	リダー名	副主幹	門田 耕太郎	担当者名	技師	笹方 裕平	技師 松本 潤

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名 (施策コード)	53323	(簡水・中島)漏水防止対策事業(水道管路管理センター分)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託		
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔 プログラム	個別プログラム	-				
政策	豊かな自然と共生する					重点プロジェクト	-				
施策	節水型都市づくりの推進					主な取り組み	-				
主な取り組み	水資源の有効利用				市長公約	-					
取り組みの柱	水資源の有効利用を図るため、上水道などの漏水防止対策を推進します。					-					
総合戦略	基本目標	-				取組み	-				
	政策	-					-				
	施策	-					-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し							
根拠法令,条例,個別計画等											

事業の目的 (どのような状態にするか)	水道管の漏水調査を実施し、漏水を早期発見、早期修繕することで、水資源の有効活用を図る。									
背景 (どのような経緯で開始したか)	水資源に恵まれていない本市では、水道管の漏水防止を水源開発の一環として位置づけ、漏水防止対策事業に取り組んでいる。合併後の平成16年度から実施している。									
対象・事業内容 (誰に対して、何をやるのか)	中島地区簡易水道の水道管等を対象とし、漏水を早期に発見するため、老朽化が懸念される水道管に重点を置いた調査を実施する。(令和2年度末 管路延長(導・送・配) 約107km) 1.戸別音聴調査の実施(家庭内のメーターに音聴棒をあて、漏水音の有無を調査) 2.路面音聴調査の実施(漏水探知器を用いて、道路下に埋設されている水道管の漏水音を路面上から探知する調査) 3.相關式調査の実施(漏水箇所を挟む2点にセンサーを設置し、漏水箇所から各センサーまで伝わってくる漏水音の時間差によって、漏水地点を算出する調査)									
受益者負担の状況	負担の有無	/		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	平成 16	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期					

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	簡易水道事業会計	款	中島地区簡易水道事業費用		目	配水及び給水費	R3予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)					4,181		616		4,558
決算額(B)(単位:千円)					3,256		0		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳		国支出金			0		0		0
		県支出金			0		0		0
		市債			0		0		0
		その他			0		0		0
		一般財源			3,256		0		4,558
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								漏水調査(委託): 3,707千円 給水装置の改善: 471千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		925		616	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	中島簡水の漏水調査は隔年で実施しておりR3年度は実施していない。 また、給水装置の改善については、需要家の申し出により給水管の復旧等を行うが、R3年度は発生しなかった。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			対象事業が発生しなかったため。				
施策への貢献度 (目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		本事業の実施により、漏水量を抑制し、水を有効利用することができたため。						
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		漏水調査業務は、専門性を有する業務であることから、人事異動でその技術が途絶えることがないよう、マニュアルに則り技術を継承していく。 また、継続的にOJT等を実施し、漏水調査ができる職員を増やしていく。			
R4年度の目標	漏水の早期発見、早期修繕に努める。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		1.戸別音聴調査の実施 2.路面音聴調査の実施 3.相關式調査の実施			